

地域包括ケアの時代を迎えて、皆様の身近で遠隔医療の活用が始まります。
テレビ電話を用いた在宅患者への遠隔診療、生体情報のモニタリングによる慢性疾患管理など、
遠隔医療の基本技術の実習、遠隔医療の技術や社会制度について、コンパクトに学べる研修です。

日本の最高の遠隔医療研究者を講師に迎えて、実践的に学習できます。
遠隔医療の教育と研究に長年の実績を持つ日本遠隔医療協会が提供する研修です。

平成30年 **東京(神田)**
2月16日(金) ~ 18日(日)

平成30年 **大阪(心斎橋)**
2月23日(金) ~ 25日(日)



開催概要

- 入門コース
- 政策コース
- 基本手法1コース
- 連携指導・管理コース
- 基本手法2コース
- 慢性疾患管理コース

コース毎に受講できます。修了証を発行します。

対象者および募集人数

- 医療関係者** 医師、看護師、薬剤師、PT/OT/ST、放射線系技師、検査系技師等
- 介護関係者** 管理者、一般
- 病院関係者** 管理者、事務職員、技術職員、関連業者職員
- 行政関係者** 国、都道府県、市町村、独立行政法人、等

東京・大阪各々 **定員60名**

※東京会場・大阪会場の
研修内容は同じです。

参加費
無料

(受講料・教材費含む)

平成29年度
厚生労働省事業

申込期間

開始 平成29年 12月11日 ▶ 終了 平成30年 1月15日

お申込み・詳細は下記URLをご覧ください

<http://j-telemed-s.jp/seminar2017/>

講師予定者

酒巻 哲夫(高崎市医師会看護専門学校)
長谷川 高志(日本遠隔医療協会)
森田 浩之(岐阜大学)
琴岡 憲彦(佐賀大学)
吉嶺 裕之(井上病院)
鈴木 亮二(東北大学)
佐藤 大介(国立保健医療科学院)
松本 浩樹(前橋工科大学)
郡 隆之(利根中央病院)

ほか

E-mail: telemed-seminar@j-telemed-s.jp

主催: 特定非営利活動法人日本遠隔医療協会

後援: 一般社団法人日本遠隔医療学会